

大学等における学生支援の取組状況に関する調査シンポジウム 実施要項

1. 目的

当機構の学生生活支援事業においては、大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）のご協力を得て、各大学等における学生支援の取組状況に関する情報等の収集、整理及び提供を行っております。調査結果を踏まえ、コロナ禍を経た知見等の情報提供及び議論の場としてシンポジウムを開催し、大学等における学生支援の取組に資する情報を提供することを目的として実施します。

2. 開催概要

（1）テーマ

「空間」と「場」から学生支援を捉え直す

—日本学生支援機構「大学等における学生支援の取組状況に関する調査」の分析から—

コロナ禍の経験は、大学等の教育活動や学生のキャンパスライフに、キャンパス、学生寮といった出会いや刺激を伴う「空間」の活用の変化や、オンラインが日常となった大学等という「場」の捉え方の転換をもたらし、大学等における学生支援のあり方を変えつつあります。

このことから、令和5（2023）年度の取組状況調査の調査結果を踏まえ、本調査の協力者会議に参加している研究者がそれぞれの観点から、コロナ禍を経てどのような「空間」と「場」の変容があったかを本シンポジウムで報告することによって、今後の各大学等における学生支援の取組に新たな知見を提供します。本シンポジウムを通じて得た知見が、全国の大学等の学生支援に関する取組の改善の一助になることを目指します。

（2）主催

独立行政法人日本学生支援機構

（3）日時・場所

- ・日時：令和8年3月3日（火）14時00分～16時00分 ※時間は予定
- ・場所：東京国際交流館 プラザ平成

（4）参加対象

- ・大学、短期大学及び高等専門学校で主に学生支援に携わる教職員

（5）実施方法・募集

- ・実施方法：対面
- ・募集：50名
※定員の上限100名。上限に達し次第、受付終了。

（6）参加費

- ・無料
※交通費は参加者負担。

(7) プログラム(予定)

14:00～14:05	【開会挨拶】 独立行政法人日本学生支援機構 理事	吉野 利雄
14:05～14:10	【趣旨説明】 早稲田大学 文学学術院 教授	沖 清豪 氏
14:10～14:55	【分析報告】 《モデレーター》	沖 清豪 氏
(14:10～14:25)	分析報告① 名古屋大学 高等教育研究センター 准教授	安部 有紀子 氏
(14:25～14:40)	分析報告② 香川大学 教育推進統合拠点 大学教育基盤センター 准教授	蝶 慎一 氏
(14:40～14:55)	分析報告③ 福岡大学 教育開発支援機構 教授	橋場 論 氏
15:00～15:45	【パネルディスカッション・質疑応答】 《モデレーター》 沖 清豪 氏 《パネリスト》(五十音順) 安部 有紀子 氏・蝶 慎一 氏・橋場 論 氏	
15:55～16:00	【閉会挨拶】 独立行政法人日本学生支援機構 学生生活部長	佐藤 稔晃

3. 参加申込

参加を希望される方は、下記参加申込フォームにアクセスし、下記に記載のパスワードによりログインして、必要事項を入力の上お申し込みください。

＜参加申込期間：令和8年1月13日（火）～2月13日（金）＞

参加申込 URL：https://www.online-system.jasso.go.jp/survey/r7torikumi_application/ja

- ※ 参加申込フォームのパスワードは各学校宛に郵送した実施要項に記載されています。
- ※ 申し込み状況により、期限前に締め切る場合がありますのでご了承ください。
- ※ 参加申込フォームは当機構ホームページの学生生活支援ページからアクセスできます。

4. 参加方法

参加申込をされた方には、令和8年2月20日（金）までに受付場所、会場アクセス方法等についてメールで連絡しますので、ご確認の上ご参加ください。

5. 本件に関する問い合わせ先

独立行政法人日本学生支援機構
 学生生活部 学生支援企画課 学生支援調査係
 〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1
 [TEL] 03-5520-6169
 [E-mail] g-chousa@jasso.go.jp
 [URL] https://www.jasso.go.jp/gakusei/index.html